

# 令和2年度 教員地域貢献活動支援事業 成果報告書

## 1 研究課題名

自走型コミュニティ構築を目的とした地域マネジメント体制および拠点構築に関する実践研究

## 2 実施教員

代表教員氏名・所属・職位	国際教養学部 教授 三輪 律江 国際教養学部 教授 中西 正彦
事業ユニットの構成	国際総合科学群国際商学部 准教授 吉永崇史 医学部 医学科 教授 水嶋 春朔 医学部看護学科 地域看護学教室 教授 田高 悦子

## 3 課題協力者

組織名	(株)横浜八景島、三井不動産(株)、(株)三春情報センター (株)横浜シーサイドライン、(株)安藤建設、石井造園(株) 大和リース(株)、京浜急行電鉄(株)、金沢区
-----	--

※課題提案者以外の連携機関(組織名) 該当がある場合のみ記載

組織名	横浜市住宅供給公社、関東学院大学
-----	------------------

## 4 課題

金沢区臨海部(横浜市6大事業による埋立地に存在する産業団地・住宅地)は社会環境の変化とともに衰退が進んでおり、たとえば定住者・就労者・来街者の減少が進んでいる。特に住宅地である金沢シーサイドタウン(金沢区並木)では、人口減少に加えて急速な高齢化が伴い、コミュニティの衰退の危機にある。

金沢シーサイド地区で活動している主体は、自らの事業基盤に関わる定住人口・交流人口を増加させるべく、それぞれに様々な取組を行っている。しかし個別の取組では効果に限界もあるため、今後の活動を見据えた他の主体等も含め、将来を見据えた密な連携を進めることが課題の一つである。

このため、2018年度に地元企業や団体、行政、大学、地域住民らで構成される「エリアマネジメント協議会」を立ち上げ、これらの活動を「あしたタウンプロジェクト」として位置づけて、活動拠点「並木ラボ」の運営や金沢シーサイドタウン地区での様々な取り組みを進めてきた。

また、連合自治会との連携や、「職住近接」をテーマとした住宅地と産業団地の交流促進の取組との連携を進め、並木ラボでの求人票を掲出について安定的な運用を実現した。

2019年度には持続的活動のための収益確保の方策として「並木ラボ」のスペース有料貸出を開始したが、本取組の自立的・自走的な持続を可能とする運営の仕組みづくり、組織化が大きな課題となっている。

## 5 課題の解決方法

集合住宅団地を中心とするニュータウン活性化、住宅地と産業団地の連携方策等、地域活性化の実践的方策を共同で研究する。

学術的な観点と、非営利であり公平性を有する大学には、各関係主体をつなぎ、調整する役割が期待される。また、環境整備や拠点運営を含む地域コミュニティの活性化、健康まちづくり、地域・組織マネジメントなどに関わる専門と実践的技術を持つ教員の関与を必要とする。

提案主体はそれぞれが持つ情報とリソースを提供して具体的な活動を進め、大学の方向付けのもと、主体間の連携を行う。

## 6 研究実績報告（実施したスケジュールと内容・成果）

コロナ禍における活動の制約があり、2020年3月～4月は活動休止した（オンラインでの会議のみ）。5月以降、クラスター発生とならないよう運営方法を配慮の上で並木ラボでの活動を再開、情報発信も行ってきた。10月からは地域住民スタッフの協力を得て子育て広場の再開、11月には過去に作成したハナバコの修繕と追加制作や名店会との連携による管理体制の立て直し等も行った。

一方、活動を自立的・自走的な持続を可能とする運営組織として、エリアマネジメント協議会の一般社団法人化に向けた検討と合意形成、設立作業等を行い、2021年3月一般社団法人金沢シーサイドあしたタウンを設立した。また、その拠点となるべく並木ラボの改修等や事務局体制の構築も行った。

## 7 得られた効果及び自己評価

COC事業終了後2018年度からは、その取り組みを住民と共に近隣の複数の企業体も巻き込む共同研究体制で自立自走を目指し活動を展開してきた。今年度コロナ禍においても最小限の中断で活動を継続し、また、協力企業との連携の元、一般社団法人に移行することができた。この動きは「既成住宅団地におけるエリアマネジメント活動」として全国的にも稀有な事例といえる。

## 8 今後の課題と展開

法人と新たな体制に移行したものの、これまでの活動の継続性と新たな発展および持続のためには、本学教員・学生を含む関係団体の引き続きの連携と活動の展開が必要である。

また金沢シーサイドタウンでの取り組みの出発点は、団地活性化のモデル事業である。今後は、本事業の成果や知見を市内に存在する多くの団地への応用、すなわち「あしたタウンプロジェクト」の多地区展開の可能性を探っていく。

## 10 研究発表

国際都市学系まちづくりコース卒業論文

- ・岩田直人「「座る」行為に着目した計画団地における公共空間の整備に関する研究  
～金沢シーサイドタウンにおけるベンチの類型化と利用指向性分析より～」